

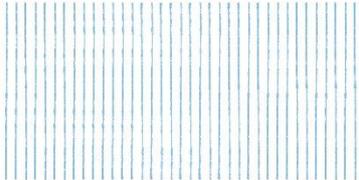
OPEN SITE 6 TOKAS 推奨プログラム

坂東祐大

×

文月悠光

2021.12.24 (Fri)
- 2022.1.16 (Sun)



声の現場

トーキョーアーツアンドスペース本郷



2021年12月24日(金) - 2022年1月16日(日)

トーキョーアーツアンドスペース本郷

■ 気鋭の若手作曲家×詩人による展示企画

あらゆる表現活動が集まるプラットフォームの構築を目指し、展覧会やパフォーマンス、ワークショップなど、多岐にわたる企画を公募、実施しているトーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)の OPEN SITE。2021 年度開催の「OPEN SITE 6」TOKAS 推奨プログラムでは、現代音楽を主軸に幅広い創作活動を行う作曲家の坂東祐大が、最年少で中原中也賞を受賞した同世代の詩人、文月悠光とタッグを組み、言葉と音の響きにより空間を構成するサウンド・インスタレーションを発表します。坂東は、学生時代の 2013 年にトーキョーワンダーサイト主催の「インターナショナル・アンサンブル・モデルン&トーキョーワンダーサイト・アカデミー Vol.6」に受講生として参加しました。その後の多方面での活躍を経て、TOKAS 推奨プログラムの企画者として迎えます。

■ 開催概要

企画名：OPEN SITE 6 TOKAS 推奨プログラム：坂東祐大、文月悠光「声の現場」

参加アーティスト：坂東祐大、文月悠光

会期：2021年12月24日(金) - 2022年1月16日(日)

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷(東京都文京区本郷 2-4-16)

休館日：2021年12月27日(月) - 2022年1月3日(月)、1月11日(火)

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース

ウェブ サイト：<https://www.tokyoartsandspace.jp/archive/exhibition/2021/20211224-7076.html>

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館) 広報担当：市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

■ プログラムについて

言葉と声、物語と唄、語り手と文体——テキストが持つさまざまな特性を生かした、詩人と作曲家によるサウンド・インスタレーション。誰かの日常や断片的な記憶は、きわめて個人的な「声」と同時に、普遍的な響きを提示する。個々の語り手は、異なる時間・状況に置かれながらも、奇妙な重なり、不思議な共鳴を見せる。この災禍の時代を、詩と音楽によって鮮やかに記録する。

作曲家・坂東祐大と詩人・文月悠光のはじめてのコラボレーション作品で、坂東にとって初の本格的な展示作品となる本企画は、文月による書き下ろしのテキスト6篇をベースに展開されます。6篇のテキストの語り手はそれぞれ異なり、独立した内容が語られるものの、どれもコロナ禍の社会や少し先のポスト・コロナの世界がそれとなく暗示されたものとなっています。坂東はこの6篇のテキストを語る6つの「声」の録音を解体し、「再構築＝作曲」してひとつのまとまった「鳴り響き」を作り上げ、6台のスピーカーを用いたサウンド・インスタレーションとして空間に提示します。空間に提示された「鳴り響き」からは、ひとつひとつの物語は聞き取れないかもしれません。しかし、バラバラでありながら時にピタリと重なり、共鳴し合う声は、異なる人生を歩む他人がときに偶然出会い、交差する瞬間があるという、私たちの生きる世界が表れていると言えるでしょう。

■ 参加クリエイター／広報用画像

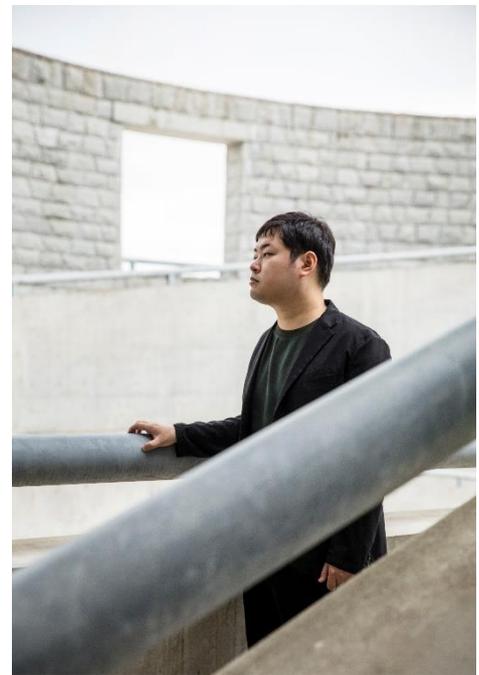
坂東祐大 | BANDOH Yuta

作曲家／音楽家。1991年大阪府生まれ。東京都を拠点に活動。多様なスタイルを横断し、異化や脱構築による刺激と知覚の可能性、感情の作られ方などをテーマに、幅広い創作活動を行う。作品はオーケストラ、室内楽からトラックメイキング、立体音響を駆使したサウンドデザイン、シアター・パフォーマンスなど多岐にわたる。

東京藝術大学作曲科を首席で卒業後、2015年同大学院修士課程作曲専攻修了。第25回芥川作曲賞受賞(2015)。代表作に、「花火-ピアノとオーケストラのための協奏曲」(サントリー芸術財団委嘱作品、2017)、「SONAR-FIELD」(Ensemble FOVE、Shibaurahouse、2019)、「TRANS」(京都芸術センターとの共同製作、2018)。

2016年、同世代の気鋭の演奏家とともに Ensemble FOVE を創立。クラシック/現代音楽というジャンルの枠を拡張するようなプロジェクトを多方面に展開している。

その他、映像作品の音楽に、ドラマ『大豆田とわ子と三人の元夫』(坂元裕二 脚本)、映画『竜とそばかすの姫』(細田守監督、音楽:岩崎太整、Ludwig Forsell と共に)、映画『来る』(中島哲也監督)、TV アニメーションシリーズ『ユーリ!!! on ice』(松司馬 拓名義)等。



1. 坂東祐大 (Photo by Shinryo Saeki)

米津玄師 5th アルバム『STRAY SHEEP』における全面的な共同編曲(「海の幽霊」、「馬と鹿」、「パプリカ」、「感電」、「カナリヤ」等)。宇多田ヒカル「Beautiful World (Da Capo Version)」、「少年時代」(井上陽水トリビュート) 編曲及び指揮。嵐「カイト」(NHK2020 ソング)オーケストラアレンジメント等。

文月悠光 | FUZUKI Yumi

詩人。1991年北海道生まれ。東京都を拠点に活動。中学時代から雑誌に詩を投稿し始め、16歳で現代詩手帖賞を受賞。高校3年の時に出した第1詩集『適切な世界の適切ならざる私』で、中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を最年少18歳で受賞。

その他の詩集に『屋根よりも深々と』（思潮社）、『わたしたちの猫』（ナナロク社）。

2020年、第1詩集『適切な世界の適切ならざる私』の増補版が、ちくま文庫より刊行される。

エッセイ集に『洗礼ダイアリー』（ポプラ社）、『臆病な詩人、街へ出る。』（立東舎/新潮文庫）。

札幌文化芸術交流センター SCARTS、ログロード代官山での詩の展示、小川珈琲「コーヒーの詩」（朗読：夏木マリ）、LIXILが展開するブランドINAXのコンセプト映像の詩、「ミヨシ石鱈」の詩（2017年より雑誌「婦人友」広告欄に掲載）など幅広く活動中。

2021年7月、詩を原案とした映画『片袖の魚』（主演：イシヅカユウ、監督：東海林毅）が公開。



2. 文月悠光

2021.12.24 (Fri)
- 2022.1.16 (Sun)

坂東祐大
×
文月悠光

OPEN SITE

声の現場

3. 「声の現場」ウェブバナー（長方形）

2021.12.24 (Fri)
- 2022.1.16 (Sun)

坂東祐大
×
文月悠光

OPEN SITE

声の現場

4. 「声の現場」ウェブバナー（正方形）